

## 事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報				平成	26	年度
事業番号	218	事業名	健康づくり事業費			
担当課	保健課	担当係	保健係			
総合計画に最も関連ある施策	施策	2	やすらぎと生きがいのあるまちづくり		連絡先	72-3566
	施策体系	1	保健・福祉・医療の充実		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規
	主な事業	健康づくりの推進		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	4	衛生費		事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町
	項	1	保健衛生費			<input type="checkbox"/> その他
	目	1	保健衛生総務費		計画期間	開始
	事業	218	健康づくり事業費			終了

### 2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 八頭町民。					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 地域組織の育成・強化を図り、住民の自主的な健康づくり活動を促進する。					
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 健康づくり推進委員会研修会、食生活改善推進員研修会を実施し健康づくりを図る。					
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 健康づくり推進委員により検診受診券等の配布時の声掛け等による健診受診の推進、健康教室の開催、健康づくり推進委員研修会へ参加し集落の住民に伝達する。食生活改善推進員研修会で調理実習し、食による健康づくりを各集落に広める。					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 健康づくり推進委員、食生活改善推進員等の地域組織の育成・強化を図り、住民が自主的な健康づくりを行うことができるようになる。					
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	八頭町健康づくり推進委員会設置要綱

### 3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし			
	A	回	健康づくり推進委員会、研修会			
	B	回	食生活改善推進員研修会			
	C	回	食生活伝達講習会			
	D					
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし			
	A	人	健康づくり推進委員会、研修会参加人数			
	B	人	食生活改善推進員研修会参加人数			
	C	人	食生活伝達講習会参加人数			
	D					

### 4 コスト

区分		単位	23年度	24年度	25年度		26年度		27年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	回	2	2	2	2	2	2	2
	B	回	18	17	18	21	18	20	18
	C	回	54	61	60	62	60	60	60
	D								
成果指標	A	人	265	269	366	226	366	214	366
	B	人	267	255	280	299	280	286	280
	C	人	680	713	700	764	700	680	700
	D								
トータルコスト		千円	11,226	11,402	11,131	11,071	11,157	11,049	12,287
担当職員数		人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
職員人件費		千円	9,840	9,840	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
事業費		千円	1,386	1,562	1,531	1,471	1,557	1,449	2,687
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)		千円						
	県支出金(交付金・補助金)		千円						
	地方債(借入金)		千円						
	事業収入(使用料・参加費等)		千円						
	一般財源(単町費)		千円	1,386	1,562	1,531	1,471	1,557	1,449

## 事務事業計画書兼評価表(B表)

### 5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 26 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に) 健康づくり推進委員による検診受診券等の配布と受診の呼びかけを行ってもらうと共に、研修会を実施し健康づくりを推進した。 食生活改善推進員研修会で調理実習を行い、各集落で講習会を実施することにより、食による健康づくりを町民に広めた。 成果(具体的に) 健康づくり推進委員に研修会への参加してもらい、各集落に伝達してもらうことにより、町民の健康意識を高めた。 食生活改善推進員による各集落での調理講習会を行い、住民の健康づくりを推進した。
----------------	--

### 6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
<b>必要性</b> (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	健診受診率がほぼ横ばいとなっており、医療及び介護の給付費を抑制するためにも受診の啓発を推進することは重要である。 食生活改善推進員による各集落での調理実習は住民の健康増進のために必要不可欠である。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
<b>妥当性</b> (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	住民の健康増進のため行う事業である。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
<b>効率性</b> (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	食生活改善推進員研修会は各地域ごとに開催しておりこれ以上のコスト削減は難しい。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
<b>緊急性</b> (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	町民の健康づくりのため健康づくり推進委員による啓発を行う必要がある。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
<b>成果</b> (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	健康づくり推進委員による啓発、食生活改善推進員による各集落での調理実習は、住民の健康増進に寄与している。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
<b>2</b>	1、拡充する	80点以上	<b>79</b>	地域組織の育成・強化を図り、住民の自主的な健康づくり活動を促進した。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	評価点による判定	
	4、見直しの上縮小する	40～49点		
	5、終期設定し終了	30～39点	<b>2</b>	
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
<b>2</b>	1、拡充する	町民の健康づくりへの取組は、受診率の向上と食生活改善が大切です。そのため、地域組織の中心となって活動する健康づくり推進員の役割が重要であり、活動への理解と認識によって各集落の取組が違って来るものと思われれます。 研修会の開催により、更に役割と重要性を理解するとともに、住民への啓発を充実させることで、受診率の向上へつなげて住民の健康増進を図られたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

### 7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所 健康づくり推進委員の役割を理解してもらい研修会等への参加、健康教室の開催等を開催し、活発な活動を展開する必要がある。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか 健康づくり推進委員からアンケートをとり、活動の実態を明らかにし、地域組織の育成・強化を図る。